

ESDfc2016WS 記録

2016年6月25日26日

参加者: 1名、ファシリテーター:佐藤宏幸、かくたなおこ

■ESD ファシリテーターズ・カレッジ 12時間コース

構成要素点検リスト

- ✓ ESD の価値観と力
- ✓ 「気づき」のためのアクティビティ
- ✓ 「築き」のためのスキルアップ
- ✓ 流れのあるプログラム
- ✓ テキスト・本トのインタビュー
- ✓ アクティビティ開発
- ✓ プログラム開発改善
- ✓ カリキュラム開発構成
- ✓ ESD の諸課題
- ✓ 個人的行動計画
- ✓ 推進の課題

■セッションの構成

- セッション1 共通基盤づくり
- セッション2 流れのあるプログラム
- セッション3 ふりかえりとまとめ
- セッション4 アクティビティづくり
- セッション5 ファシリテーション実践
- セッション6 個人的行動計画とふりかえり

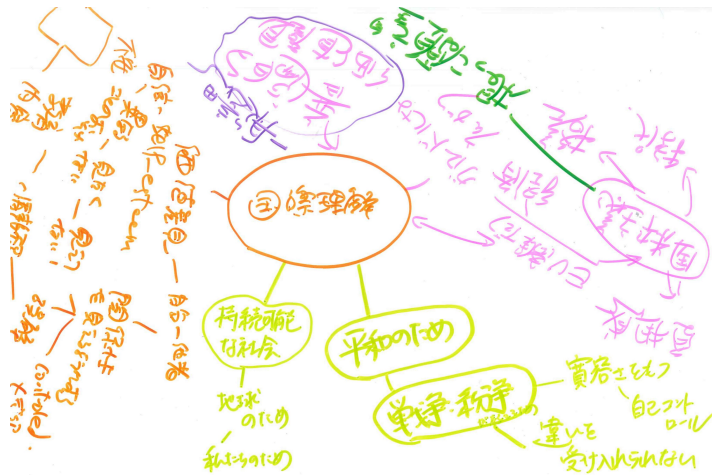
■ プログラム記録

セッション1 共通基盤づくり

11:00-13:00

1. 12時間研修の構成
2. 自己紹介のアクティビティ
 - (ア) スキル系コースで取り入れる「ものづくり」
 - (イ) 10の条件

3. ノートテイキング
4. 3人で傾聴
 - (ア) 三つのポイント
 - (イ) 正確にフィードバック
5. テーマ「国際理解」で深めたい概念



(ア) 連想図

テーマ「国際理解」
で深めて考えたい概念

- 根無草と普遍的価値観のひびき合いの緊張感 (不安・不満)
- 寛容さの知覚 (Tolerance 自分のことば)
- セルイエシステム = 自分を受け入れられたい = 近い
- 他者に関心をもっている → 意欲・好奇心・向上心 などつまり建設的の弱さ

□ 80年代 - 向題性出題
↳ 学び続ける

□ 21世紀・課題
世代間ギャップ

□ 絶対主義 (BQOL 人権 ・ ジェンダー ・ ボリソフ)

□ 相対主義

□ 混乱 (選択する 刃が育てた)

□ 圧力 (男女 ・ 人権など → 積極的平和主義)

(イ) リスト

6. ノートテイキング → (話し合いのルールづくり)

- 話し合いのルールづくり
- WHY? と What?
- 共通理解を持つ
- 場づくり
- 場と姿勢の意識づけ
- ・ 相手に言いたいことを知る
- ・ 自分の理解を投書しておく
- ・ 安心感、ちゃんと理解している
- ・ 相互に安心感を感じてもらう
- やり方をととのえる。HOWを共有
- 話し合いの条件 「学びが深まる」
- ・ 前向きな 一何のための話し合い?
- ・ 対立OK - どう扱うか?
- ・ 安全・安心を確保
- ・ 平等 参加しやすい
- ・ 多様性 全員が

■ セッション2 流れのあるプログラム

14:00-16:00

1. 教室の中の世界 気づいたこと・感じたこと・学んだこと

- 教室の中の世界
- ・ インターネット (情報伝達)
 - ・ リサイクルマフ (資源回収)
 - ・ 漢字英語 (漢字と英語)
 - ・ コーヒー, 紙, 電文, 水
 - ・ 時計, 数学 (アラビア) (科学)
 - ・ ホット材料
 - ・ どろろし tea, お金
 - ・ シッコロウ, 労働, 米
 - ・ 和紙, お米 (技術)
-

2. つながりと friction/コンフリクトと解決策 つながりには「摩擦」が伴う。つながりたい、でも問題は生まれる、じゃあどんな風に解決してきたか?

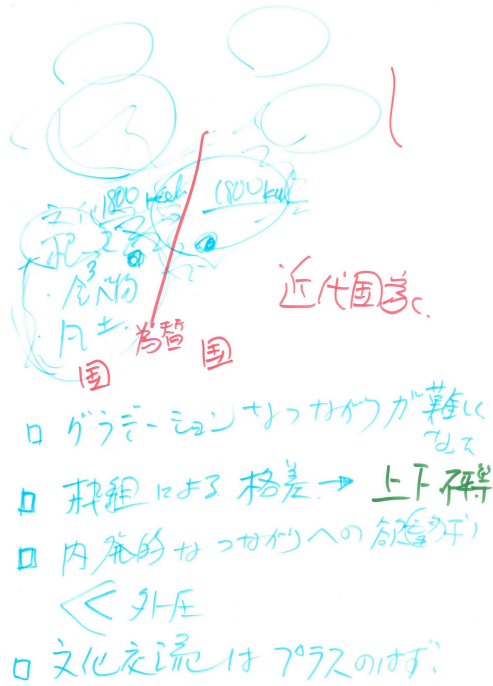
- (ア) モノ
- (イ) 金
- (ウ) 労働
- (エ) コーヒー

3. ノートテイキング

4. いまの世界は・・・

いまの世界は...

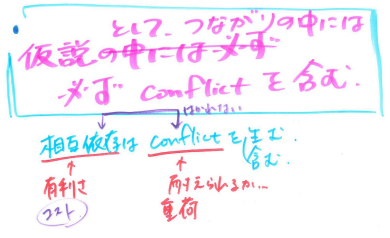
- 同じサウリス(り)互すこと
見つけた ^{今分利} キーワード
倫理・信頼
- つながり ^は コンフリクトあり
- 大まか流れ 変化のパターン
も見るべきがきさ
- 原因と結果 . スピード感
. 格差の
- 内発的に求める . 因習化
つながりと ↑
外発的に強制力 ↑
金融
- 文化 生活圏 を 様相 に ちかみ



5. 気づいたこと・わたしたちにできること

気づいたこと

- 最初の発問は視野を広げ
次に 多面 ひねり
アズビテで 多層的に展開
すと、自分と世界がつながる!
- 世界は 複合素材 だ!
- ひねりあそばし!



■ セッション3 ふりかえりとまとめ

16:15-18:00

1. 良かった点、気づいたこと・感じたこと・学んだこと

「流れのあるプログラム」

良った点 「紙」の性質と文字化の期待

- ・ひとつのT-2から深く分析すること
ができた。(広範囲と深手)
- ・終わりの地点が最終着点か
ここまでは思いつかなかった。
- ・ひとつのものをめたいたT-2のものが
が見えた。またそこも分析すること
- ・時系列に逆上ると見えてくるものが
あるかませ? 視点を一定にいつ時系列
をかせました。

改善点 本質をさせた

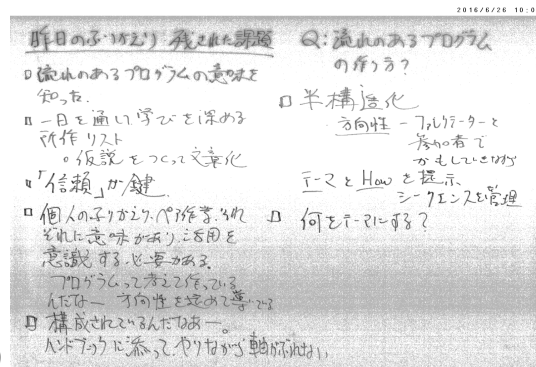
- ・つながりの「初まり」と「ながすプロセス」
の分析
- ・つながりを断つ時の「初まり」とか
そのプロセスとプロセス分析

2. 三つの省察でふりかえり「流れのあるプログラム」を味わう
3. 「さまざまな感情」からわたしの価値観を確認する
4. ノートテイキング
5. 四つの活動形態 それぞれの効果と活用
6. ファシリテーターの資質
7. 参加者の理解

■ セッション4 アクティビティづくり

9:00-11:00

1. 学びの本質 ファシリテーターの三つの手だて



2. 昨日のふりかえり
3. アクティビティ開発のためのテーマを決める×12のものの見方・考え方を使う。
テーマと How のかけ算がアクティビティ
4. 流れのあるプログラムとして構成する
(ア) 四行文章

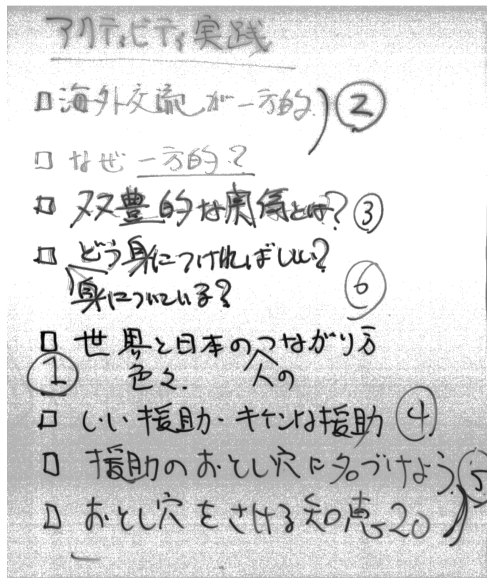
(イ) 接続詞で論理トレーニング

(ウ) 「伝えたいこと」で起承転結

■ セッション5 ファシリテーション実践

12:00-

1. 実践したいアクティビティを書き出す→精査→6つ



2. アクティビティ開発実践
(ア) あなたの世界で世界地図
(イ) 海外交流は一方向的?
(ウ) 双豊的になる原則
(エ) キケンな援助
(オ) 援助の落とし穴
(カ) 落とし穴を避ける知恵
(キ) 身につけるために
3. アクティビティ名をつける、How 手順を示す。

■ セッション6 個人的行動計画とふりかえり

14:15-15:50

1. アクティビティ共有改善
2. 二日間をざっくりとふりかえる ふりかえりの eQi で共有
3. ノートテイキング
4. 残された課題の確認
5. 個人的行動計画
6. 未来を築くインタビュー
7. 修了証